



【研究主題】

自己指導能力を身につけた児童生徒の育成
～協働し、折り合いをつけながら、よりよい生活を創り出す積み重ねを通して～

【主な研究の内容】

自己指導能力の獲得を支える4つの視点「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の構成」を踏まえつつ、児童生徒が自分たちの課題に対して、協働し、折り合いをつけながら、よりよい生活を創り出そうとする経験を数多く積み重ねる効果的な働きかけについて、研究を進め、実践を行う。



自己指導能力の獲得



積み上げ

③よりよい生活を創り出す経験を積み重ねるために

- ・児童生徒一人一人が自分の考えをもち、仲間の考えを受け止め、合意形成による決定ができる話し合い活動の工夫
- ・係活動や委員会活動に主体的に取り組み、より充実した活動となるための支援の在り方
- ・達成感を味わわせるための行事等で協力して活動する手立ての工夫

②Hyper-QUの結果を指標にし、効果的な取組について検討と実践

①全ての児童生徒が安心して過ごせる学級をつくるために

- ・児童生徒自身がもともと持っているよさに気づき、そのよさを伸ばすための「ほめる」「認める」「励ます」支援と対話の充実
- ・一人一人が役割分担を担う常時活動や一人一人の活動の機会が保障された特別活動の工夫
- ・児童生徒の自己決定の場が多く提供され、児童生徒が主役となる授業の在り方



土台